

8月～10月の新着本&CD

2009年8～10月新着分より

(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)



画像
なし

『「フラフラ」のすすめ』

(益川敏英/講談社/09.7/TE 289 マ)
ノーベル物理学賞を受賞した益川氏は青春をどう生きたか?多様に化する社会に対応できる基礎的な知識を身につけることが大切と語る。将来熱中できる対象を発見するためのヒントを教えてくれる。

画像
なし

『江戸っ子菓子屋のおつまみ噺』

(細田安兵衛/慶応義塾大学出版会/09.5/588.3 ホ)

江戸時代から続く老舗和菓子屋の6代目が様々なエピソードを交えながら綴るお菓子の文化史。粋を重ねる日本橋界隈の老舗の話は心を打つものばかりです。

画像
なし

『農民になりたい』

(川上康介/文芸春秋/09.7/611.7 カ)
敬遠されてきた農業のイメージが変わった。収入が激減しても、農業に利益だけではない価値を見出した5組の「脱サラ農民」を紹介。実践版就農ガイドです。

画像
なし

『沖縄染織王国へ』

(与那嶺一子/新潮社/09.5/753 3)

琉球王国の歴史と自然の恵みが育んだ多彩な染織品の魅力が満載の入門書。伝統を踏まえながら、新しい風を吹き込み続ける5人の染織家が創る美しい作品の数々も紹介。

画像
なし

『筆談ホステス』

(斉藤里恵/光文社/09.5/916 94)
1才10ヶ月で聴力を失い、青森一の不良娘だった著者が「辛いのは幸せになる途中ですよ」等、独自に編み出した筆談術で銀座1ホステスになるまでの苦闘とマル秘接客術を語る。

画像
なし

『津軽百年食堂』

(森沢明夫/小学館/09.3/71)

3世代70年以上続いている食堂を青森では「百年食堂」と呼ばれています。桜の花びらが舞う津軽の百年食堂を舞台に友情、恋愛、家族への想いが美しく描かれています。

展示テーブルから

11月の展示テーマ
頭の中をのぞいてみよう

画像
なし

11月の展示本

『脳をパワーアップ
したい大人のための
脳のなんでも小事典』
(川島隆太、泰羅雅登、中村克樹
/技術評論社 /04.4/491.3 /)

展示テーブルは図書館
入口右側にあります

毎月テーマを変えて
本を紹介しています

おいてある本は全て
貸出できます

11月の展示は、知っているようで知らない、でもとても重要な頭の中“脳”に関する本を集めてみました。

展示テーブルより紹介する1冊は、『脳をパワーアップしたい大人のための脳のなんでも小事典』です。“脳は何をしたらいい?”といった脳の役割や構成、眠り、病気についての基礎知識から“嘘をつくのは人間だけ?”や“年とともに一日が短く感じられるようになるのはなぜ?”など、何気ない疑問まで、イラストや脳の図を用い分かりやすく答えています。「そんな働きもあったんだ」と気づかされることも多く、もっともっと“脳”のことが知りたくなってきます。

過去に展示テーブルで紹介したテーマ及び本のリストのファイルは展示テーブル上にあります。また、2006年11月以降のものは図書館ホームページ「本の紹介」内の「バックナンバー」でも確認できます。是非ご活用ください。

録音 CD

(演奏者 / 収録時間 / 請求記号)

画像
なし

『思秋期』

(岩崎宏美〔ほか〕/74分 /290 シ)

5,000曲以上もの歌を遺した阿久悠の作品から、秋の楽曲を集めた珠玉の作詞集。過ぎ去った時代と季節を思い出す大ヒット曲や通常の作詩集では埋もれがちな名曲も幅広く収録。

こどものほんコーナーから

おすすめの一冊

画像
なし

『スパゲッティに なりたいたい』

おいかわけんじ
たけうちまゆこ
学研
'05.10
E 01

朝、目をさました小さな男の子が、空想の中でなりたいたい物に変身します。はじめはスパゲッティに。次はなんでしょう?身の回りの物すべてが新鮮だった子ども心を思い出し、楽しくなります。シンプルな色使いの愛らしい絵本です。

【一般書 ベスト10】

- 1 新参者 / 東野圭吾
- 2 終の住処 / 磯崎憲一郎
- 3 半島へ、ふたたび / 蓮池薫
- 4 ころころ / 畠中恵
- 5 フリーター、家を買う。 / 有川浩
- 6 贖罪 / 湊かなえ
- 7 プリズン・トリック / 遠藤武文
- 8 デパートへ行こう！ / 真保裕一
- 9 1Q84 1・2 / 村上春樹
- 10 運命の人 (全4巻) / 山崎豊子



書庫での新聞整理。抜けている箇所等がないか全て点検します。

1階の新聞コーナーでは、図書館に届けられる朝夕刊のチェックと、引き出しにストックされている少し前の新聞の整頓を毎日行っています。また月に2回、たまった新聞をまとめて書庫へ移す作業をしています。各紙毎に揃えてひと月ごとに紐で縛って(写真)、書庫の棚に収めています。

現在図書館で購入している新聞は11タイトルです。その他別に届く定期行物(タウンニュースや広報にのみやなど)約10タイトルと同様に、保存期限を決めて保管しています。神奈川新聞については、2000年11月分(ラディアンに移転開館当初)から全て保管してあります。



朝日新聞と読売新聞は縮刷版もあります。朝日新聞は1975年から、読売新聞は1986年から所蔵しています。2階の参考図書コーナー奥の書架には、最新の2年分が並んでいます(写真)。過去の新聞をまとめて調べたいときは縮刷版が便利です。

2階に並んでいる新聞縮刷版



竜胆(リンドウ)の語源は？

ふう～ん

中国での呼び名竜胆りゅうたんが日本に伝わり、リウダウと表記されリンドウとなりました。リンドウの根は熊の胆くまより苦く、まるで龍の胆りゅうたんのようだという事から古代中国で竜胆と名付けられたようです。古くから薬草として知られ、現在でも干した根は生薬「竜胆」りゅうたんとして主に健胃薬に利用されています。

二宮ゆかりの人物

さいとう こうそん 齋藤 香村 (能楽研究家・俳人)

昭和20年から25年まで二宮町上町に住んでいた、齋藤香村をご存知ですか？能楽研究家・俳人の齋藤香村は、東京で二回も戦災に遭ったため知人の紹介で二宮へ移り住みました。

齋藤香村(1882～1954 本名よしのすけ芳之助)は明治15年山形県鶴岡市に生まれました。幼い頃より謡曲、仕舞、小鼓の稽古を続けましたが15歳頃から俳句に熱中するようになり、明治34年19歳で俳句結社「ホトトギス」の高浜虚子に師事するようになりました。明治35年に上京、新聞社に入社して能楽記事、能楽評論、歌舞伎など演芸記事を担当しました。明治42年には「能楽画報」を創刊し、能や謡の研究だけでなく素人向けに謡い方舞い方などの記事を載せ好評を得ました(昭和16年に終刊)。また新作能も作っており、昭和16年に「二宮」を、昭和27年には「龍の口」を発表し、小田原市の報徳二宮神社、東京水道橋能楽堂でそれぞれ上演されました。

二宮に住んでいた期間は俳人としての活動が中心で、上町の自宅を拠点として句会「春夏秋冬」を主宰し、活躍の場としました。また自宅に「藝文社」という出版社を置き、俳句雑誌「春夏秋冬」や『芭蕉・蕪村・虚子』を出版しました。昭和20年以降の俳句には自宅から海の風景を詠んだ句も多く、終戦の頃の「玉音のあと夏浪の音ばかり」や、冬の句で「寒月の窓にあら海あるばかり」等多数あります。

『齋藤香村句集』の中には句会の記念写真が載ってお

り、他の人達とともに香村、長男、孫が写っています。写真には作家山川方夫(本紙第4、5、20号に掲載)の祖父玄治郎の姿もあり、句会に参加していた事が分かります。齋藤家と山川家はごく近所で、齋藤家から山川家へ電話を取り次ぐなど両家には交流があったよう



齋藤香村氏(『齋藤香村句集』より)

うです。昭和25年に香村は新宿区若宮町へ住まいを移しますが、句会は続けられました。そこには市川三升(十代目市川團十郎、本紙第15号に掲載)も参加しており、三升の病気の折には香村のご家族が二宮の療養先に見舞いに行った、とのこと。

昭和28年頃香村は東京から小田原市万年町に転居し、翌29年6月に腎臓病のため72歳で亡くなりました。高浜虚子は訃報を聞き、雑誌「ホトトギス」に寄せた「虚子消息」の中で「明治三十五六年頃からの知己でありまして、古く吾等仲間の句に遊んで居りましたが、中頃能楽の方の仕事に携わり、晩年また熱心に句作をして居りました」と哀悼の意を表しています。現在、香村は鎌倉市妙本寺の趣のあるお墓に眠っています。

今回の掲載にあたり、齋藤香村の次女八千代様に大変貴重なお話を伺いました。ご協力ありがとうございました。

参考資料 『齋藤香村句集』(齋藤香村/角川書店/2004/NY 94) 『芭蕉・蕪村・虚子』(齋藤香村/藝文社/1947) 雑誌「春夏秋冬」第2巻第3号(藝文社/1947) 『小田原謡曲界明治百年記念懐古録』(清水専吉郎/孔芸社/1970) 『虚子消息』(高浜虚子/東京美術/1973)

お知らせ・お願い

特別館内整理（蔵書点検）が終了しました（9/24～9/30）
休館中はご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

図書館利用のための託児サービス(試行)を始めました

幼いお子さんをお持ちの方にも気軽に図書館を利用していただくため、託児サービスを10月から始めました。

日時：12/16・1/20・2/17・3/17の水曜日 10～12時の1時間以内

対象：町内在住の3歳以下の乳幼児 利用料：無料

場所：ラディアン保育室等 定員：5名（事前申込制・先着順）

申し込み、詳細は図書館カウンターまたはお電話でお問い合わせください。

長期延滞者への「利用制限」について

返却が遅れている方に、毎月八ガキや電話による督促を行っていますが、一年以上延滞されている方に対しては、お返しいただくまで貸出・予約を停止させていただきます。

年末年始休館のお知らせ

12月28日(日)～1月5日(火)まで休館いたします。

休館中の返却ポストへの返却はご遠慮ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

11月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

12月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

■ 休館日

1月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |



ちいちゃいおはなし会

第2水曜日

(1月は第1水曜日)



おおきいおはなし会 小学生から

おはなし会とおりがみあそび

第3土曜日



わらべうたであそぼう!

第3金曜日

利用者の声 Q&A

Q：図書館基金の募金額を見えるところに表示してほしいのですが？

A：今年3月に設立された図書館基金へ、ご協力いただきありがとうございます。募金・寄付金額は10月から館内掲示とホームページでお知らせしています。皆様からいただいた募金・寄付金額は10月末までで合計122,648円（図書館の募金箱等：73,960円、図書館リサイクル市：48,688円）でした。今後は図書館だよりでも掲載していく予定です。

にのみや町民大学

図書館ボランティア講座

図書館に興味がある、特技を活かしたいなど、町図書館でボランティアとして活動していただける方を対象に、下記のとおり養成講座を開催します。ぜひご参加ください。

第1講座 - 「子どもの発達と絵本」

講師：渡辺順子氏 <すずらん文庫主催>

日時：平成22年 1/21(木)・1/28(木)

10～12時 ラディアンミーティングルーム2

定員：30名 参加費：無料

(1/21は公開講座のため60名)

主に子どもに絵本等読み聞かせをする活動

第2講座 - 「やさしい製本と修理」

講師：高尾斎氏 キハラ(株)

日時：平成22年 2/4(木)

10～12時/13～16時 マルチルーム1

定員：20名 参加費：900円

主に図書館の本などの修理をする活動

申し込み等詳細は広報にのみやお知らせ版12月号に掲載します。

展示テーマ

9月 一般 / 『禅』
児童 / 『秋』
A V / 『9月 september』

特設展示

8月・・・『東海道五十三次』

10月・・・『夢中になって、読みました!』

10月 一般 / 『話術 - 話し方のヒント -』
児童 / 『秋』
『世界天文年2009』(ミニ展示)

地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

10～12月・・・『伊達 時』

1～3月・・・『二宮とダダの作家たち』

11月 一般 / 『頭の中をのぞいてみよう』
児童 / 『秋』
A V / 『CDで聴く文学作品』

書庫の本紹介コーナー

10～12月・・・『映画化された作品』

図書館基金

ご協力ありがとうございます

10月末までの合計
122,648円

内訳
募金箱等
73,960円
リサイクル市の寄付
48,688円

ひとつだけ ~編集後記にかえて

芸術・スポーツ・食欲そして読書の秋を満喫されていますか？舞い散る紅葉の中、本を読みながら疑似体験ができたりするのも読書の醍醐味ですね！図書館には、アイデアや夢が広がる素敵な本がたくさんあります。ぜひご利用ください。

編集・発行 二宮町図書館

住所 二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテープ版もあります！お問い合わせください。

次号の発行は
2月15日(水)～!

